

【案】

塩尻都市計画地区計画の決定（塩尻市決定）

塩尻都市計画棧敷地区地区計画を次のように決定する。

名 称	棧敷地区地区計画	
位 置	塩尻市大字棧敷、長畝及び片丘の一部	
面 積	約 17.0ha	
区域の整備・開発及び保全の方針	地区計画の目標	<p>本地区は塩尻駅から東へ約1.7km、塩尻ICから西へ約1kmに位置し、旧五千石街道の沿道から田川沿岸までを中心に集落が形成され、往時の面影を残す地域固有の街並みが形成されている集落である。また、地区内は国道20号バイパスが通り、中心市街地や高速道路へのアクセスが良好な地区となっている。</p> <p>本地区は近世初頭から旧五千石街道の沿道を中心に農村集落として成り立ち、現在まで地域コミュニティを形成してきたところであるが、近年は居住者の高齢化や空き家の増加によって、自治会の運営や消防団活動が難しくなるなど、集落内人口の減少に起因する地域コミュニティの活力低下が顕著となっており、地域の衰退が懸念されている。</p> <p>本計画によって、周囲の自然環境と調和した緑豊かな環境を守りながら良好な居住環境を確保しつつ、空き家・空き地を利活用した集落への居住を誘導し定住人口を増やすことで、地域コミュニティの維持・活性化を図ることを目標とする。</p>
	土地利用の方針	<p>周辺環境と調和した良好な居住環境の維持を基本としつつ、特性に配慮した土地利用を推進するため、主として一戸建て低層住宅を基本とし、周辺環境との調和に配慮しつつ、生垣や木塀を活かした落ち着いた街並みの維持・形成を図る。</p> <p>また、周囲の営農環境にも配慮し、農業の支援・活性化施設や、少子・高齢化社会に対応した生活サービス施設、小規模な店舗等の立地を可能とすることで、生活の利便性を確保することにより地域コミュニティの維持活性化及び集落環境の維持向上を図る。</p>
	地区施設の整備の方針	<p>地区施設については、田川沿岸の災害リスクを有するエリアとの関係性を考慮し、防災性向上の観点から指定避難場所に近接する空地を広場として指定し、その機能を担保する。</p>
	建築物等の整備の方針	<p>良好な居住環境を維持しつつ、地域コミュニティの維持・活性化を図るため、一戸建て住宅のほか、日用品の販売を主たる目的とする店舗や、公益上必要な施設など居住者の生活に必要な建築物の建築を市街化調整区域の性格を逸脱しない範囲で可能とする。</p> <p>また、建築物の敷地が細分化されること及び建て詰まりを防ぎ、空地を確保するため、建築物の敷地面積の最低限度、容積率の最高限度、壁面位置の制限等について定めることで、周囲の自然環境と調和したゆとりある居住環境の形成を図る。</p>

地区整備計画	地区整備計画面積	約 17.0 ha		
	地区施設の配置及び規模	広場	名称	面積
			地区施設広場 1号	約 0.1 ha
	建築物等の用途の制限	<p>次の各号に掲げる建築物を建築することができる。</p> <p>①建築基準法（昭和25年法律第201号）別表第二に定める田園住居地域内に建築することができる建築物（ただし、次に掲げる建築物は除く。）</p> <p>（ア）長屋、共同住宅、寄宿舍及び下宿</p> <p>（イ）学校、図書館その他これらに類するもののうち床面積の合計が250㎡を超えるもの</p> <p>（ウ）神社、寺院、教会その他これらに類するもの</p> <p>（エ）老人ホーム、保育所、福祉ホームその他これらに類するものであって、床面積の合計が250㎡を超えるもの</p> <p>（オ）公衆浴場</p> <p>（カ）診療所であって、床面積の合計が250㎡を超えるもの</p> <p>（キ）巡査派出所、公衆電話所、建築基準法施行令（昭和25年政令第338号）第130条の4各号で定めるものであって、床面積の合計が250㎡を超えるもの</p> <p>（ク）地域で生産された農産物の販売を主たる目的とする店舗その他の農業の利便を増進するために必要な店舗、飲食店その他これらに類する用途に供するもののうち建築基準法施行令第130条の9の4各号（第1号の田園住居地域及びその周辺の地域を塩尻市内と読み替える。）に掲げるものであって、その用途に供する部分の床面積の合計が200㎡を超えるもの</p> <p>（ケ）（ク）に掲げるもののほか、店舗、飲食店その他これらに類する用途に供するもののうち建築基準法施行令第130条の5の2各号に定めるもの（同条第4号に掲げるもののうち、塩尻市内で生産された農産物を原材料とするものに該当するものであって、その用途に供する食品の製造又は加工を主たる目的とするものを除く。）</p> <p>②兼用住宅（建築基準法施行令第130条の3各号に定める用途を兼ねる住宅（長屋及び共同住宅を除く。）であって、床面積の2分の1以上を居住の用に供するものに限る。）</p> <p>③地区集会場</p> <p>④日用品の販売を主たる目的とする店舗、喫茶店、理髪店等の店舗であって、2階以下、床面積の合計が150㎡以内のもの</p> <p>⑤①から④まで又は⑧の建築物に附属する物置、車庫その他これらに類するもの</p> <p>⑥地区ゴミステーション</p> <p>⑦地区防災倉庫</p> <p>⑧地区計画決定告示の際、現にある建築物（同一敷地に限る。）</p>		
建築物の建蔽率の最高限度		<p>10分の5</p> <p>ただし、地区計画決定告示の際、現に建築物を存する敷地はこの限りではない。</p> <p>なお、建築基準法（昭和25年法律第201号）第53条第3項第2号の規定を準用する。</p>		
建築物の容積率の最高限度	<p>10分の8</p> <p>ただし、地区計画決定告示の際、現に建築物を存する敷地はこの限りではない。</p>			

	建築物の敷地面積の最低限度	<p>300㎡</p> <p>ただし、地区計画決定告示の際、現に建築物を存する又は存していた敷地面積が満たない場合は、その面積とする。また、開発区域の形状、開発区域内において予定される建築物の規模等に照らしてこれによることが著しく困難であると認められる場合は、この限りでない。</p>
	壁面の位置の制限	<p>建築物の外壁又はこれに代わる柱の面から敷地境界線までの距離は、次のとおりとする。</p> <p>道路境界線までの距離 1.5m以上</p> <p>隣地境界線までの距離 1.0m以上</p> <p>ただし、これらの限度に満たない距離にある建築物又は建築物の部分が、次のいずれかに該当する場合はこの限りではない。</p> <p>①柱のみの建築物</p> <p>②外壁又はこれに代わる柱の中心線の長さの合計が3m以下のもの</p> <p>③物置その他これに類する用途（自動車車庫及び自転車置場を除く。）に供し、軒の高さが2.3m以下で、かつ、床面積の合計が5㎡以内のもの</p> <p>④自動車車庫及び自転車置場で軒の高さが2.3m以下のもの</p> <p>⑤地区計画決定告示の際、現にある建築物</p>
	建築物等の高さの最高限度	<p>建築物の高さは、次に掲げるもの以下とする。</p> <p>①最高の高さ 10m</p> <p>②軒の高さ 7m</p> <p>③各部分の高さ 建築基準法第56条の規定（第一種低層住居専用地域に係るものに限る）により算出した高さ。</p> <p>④広告塔、立て看板その他これらに類する屋外広告物の高さ 7m</p> <p>ただし、地区計画決定告示の際、現にある建築物の部分はこの限りではない。</p>
	建築物等の形態又は意匠の制限	<p>建築物等の形態又は意匠は、次に掲げるものとする。</p> <p>外壁及び屋根の色彩は、刺激的な色を避け周辺の環境に調和したものとし、マンセル表色系のY、YR、Rの色相においては彩度6以下、その他の色相においては彩度3以下とする。</p> <p>ただし、次のいずれかに該当する場合はこの限りではない。</p> <p>ア 地域の伝統的建造物及びその特徴的な形態・意匠を継承するもの</p> <p>イ 地区計画決定告示の際、現にある建築物の部分であるもの</p> <p>ウ 最高の高さが5m以下の附属建築物</p> <p>エ 漆喰壁、土壁、板壁（素地色の場合に限る。）和瓦葺、茅葺又は銅板葺であるもの</p>
	かき又はさくの構造の制限	<p>かき又はさくの構造の制限は、次に掲げるものとする。</p> <p>①生垣（縁石やブロック等により植樹帯を設置する場合の植樹帯（基礎部分）の高さは、地盤面から0.6m以下のもの）</p> <p>②やむをえずさくを設置する場合</p> <p>地盤面からの高さが1.5m以下の透視可能なさく、木塀又は竹垣（基礎等を設置する場合の基礎の高さは、地盤面から0.6m以下のもの）</p> <p>ただし、上記①、②に関わらず、次のいずれかに該当する場合はこの限りでない。</p> <p>ア地区計画決定告示の際、現にあるもの</p> <p>イ門又は門柱</p>

「区域は計画図表示のとおり」

理 由

良好な居住環境を確保するとともに、地域コミュニティ維持・活性化を図るため居住者の生活に必要な施設の誘導するために地区計画を決定するものです。